

## 東京大学医学部附属病院においてこれまでに診療を受けられた方へ

当院に入院または外来受診した方を対象に、当院での診療経過について後ろ向きにカルテ等の診療情報を調査・解析する研究を行います。この研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用または提出されることを希望されない場合は末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

### 【研究課題】

院内医療安全管理業務を通じた医療の安全性と質向上のための後ろ向き観察研究  
(包括申請)  
(審査番号 2019191NI)

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 医療評価・安全部

研究責任者 医療安全対策センター長・山本知孝

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

### 【研究期間】

2002年4月1日から2029年7月31日まで

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

### 【対象となる方】

上記の期間に当院で診療を受けられた方を対象とします。

### 【研究目的・意義】

後ろ向きに当院の既存の診療情報を調査・解析して医療の安全性と質の向上のために改善すべき点を見だし、今後当院で診療を受ける患者さんに良質・安全な医療を提供するための資料として活用することで診療レベルのさらなる向上を目指します。

### 【研究の方法】

この研究は、Patient safety（患者安全）の確保の妨げになる事象を分析するために、必要に応じてカルテ情報や血液検査・画像検査・病理検査結果等のデータを取得して行う研究です。研究対象者の皆さんに新たにご負担いただくことは特にありません。

なお、ご自身が対象として含まれる研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

### 【個人情報の保護】

この研究で収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。取得したカルテ情報やデータ等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。どなたのものか分からないように加工した上で、当センターにおいて、セキュリティシステムの配備されている室内、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当センターにおいてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のカルテ情報・データ等を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後3年間保存されます。保管期間終了後には、データを消去することで廃棄します。なおご自身が対象として含まれる研究データを統計データとしてまとめ公表したものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学部附属病院医療評価・安全部の運営費から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2024年11月

### 【問い合わせ先】

研究責任者：山本 知孝

連絡担当者：牛尾 倫子

東京大学医学部附属病院 医療安全対策センター

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 32622）